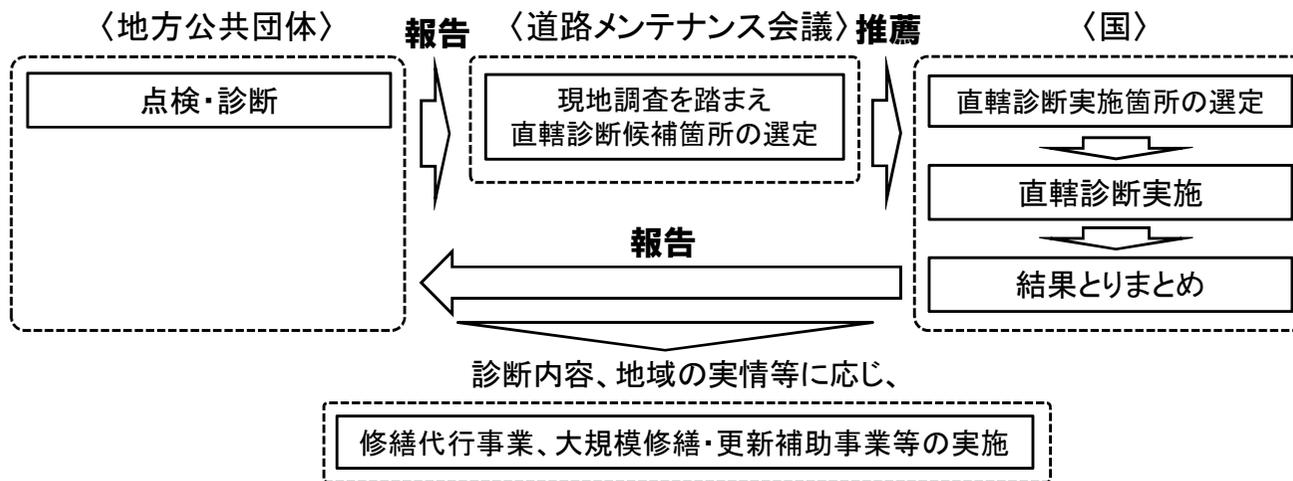


4 情報提供

直轄診断について

- 地方公共団体への支援として、要請により緊急的な対応が必要かつ高度な技術力を要する施設について、地方整備局、国土技術政策総合研究所、土木研究所の職員等で構成する「道路メンテナンス技術集団」による直轄診断を実施。
- 診断の結果、診断内容や地域の実情等に応じ、修繕代行事業、大規模修繕・更新事業等を実施。

【全体の流れ】



【直轄診断実施箇所とその後の対応】

| | 直轄診断実施箇所 | 措置 |
|-----------|--------------------|--------------|
| H26 年度 | 三島大橋(福島県三島町) | 修繕代行事業 |
| | 大渡ダム大橋(高知県仁淀川町) | 修繕代行事業 |
| | 大前橋(群馬県嬬恋村) | 大規模修繕・更新補助事業 |
| H27 年度 | 沼尾シェッド(福島県南会津郡下郷町) | 修繕代行事業 |
| | 猿飼橋(奈良県吉野郡十津川村) | 修繕代行事業 |
| | 呼子大橋(佐賀県唐津市呼子町) | 修繕代行事業 |
| H28 年度 | 万石橋(秋田県湯沢市) | 修繕代行事業 |
| | 御銚橋(群馬県神流町) | 修繕代行事業 |
| H29 年度 | 音沢橋(富山県黒部市) | 修繕代行事業 |
| | 乙姫大橋(岐阜県中津川市) | 修繕代行事業 |
| H30 年度 | 天大橋(鹿児島県薩摩川内市) | 修繕代行事業 |
| | 仁方隧道(広島県呉市) | 修繕代行事業 |
| R1 年度 | 秩父橋(埼玉県秩父市) | — |
| | 古川橋(静岡県吉田町) | — |

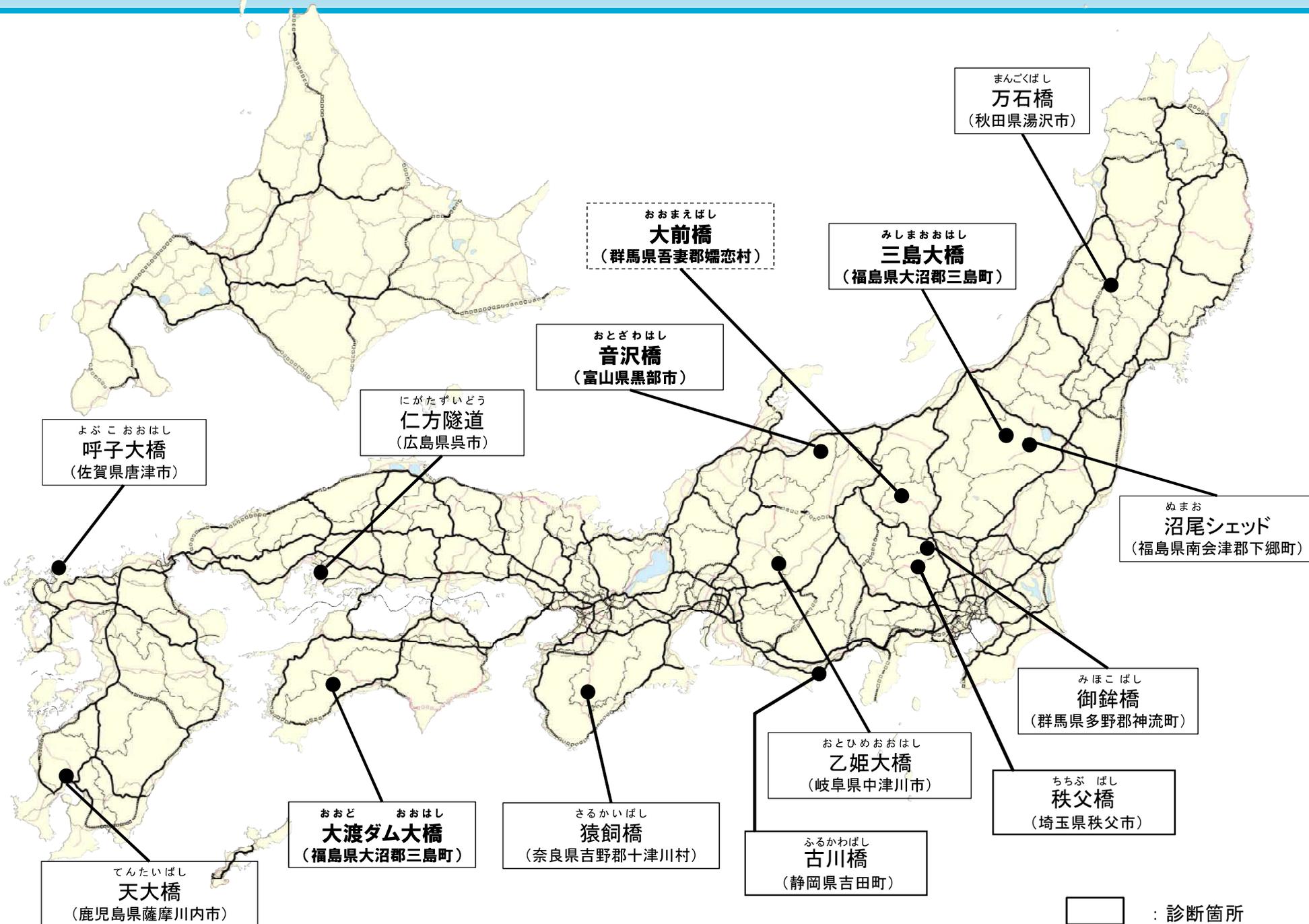
【平成30年度 直轄診断実施箇所】

てんたい さつませんたい
■天大橋(鹿児島県薩摩川内市)



にがたずいどう くれ
■仁方隧道(広島県呉市)





大規模修繕・更新補助制度の概要

- 平成27年度より、地方公共団体における大規模修繕・更新を集中的に支援するため、補助事業を創設。
- 地方公共団体が進める老朽化対策に向けて、大規模修繕・更新に対する支援を実施。

対象事業

①修繕

橋脚の補強など、補修補強により性能・機能の維持・回復・強化を図るもの



床版の増厚

②更新

橋脚の架替など、再施工により性能・機能の維持・回復・強化を図るもの



架替の実施

③集約化・撤去

同一路線の複数構造物の性能・機能を一部に集約するため①・②に伴い実施する構造物の撤去



橋梁の撤去

特徴

- ・国庫債務負担行為制度（4箇年以内）活用可能
- ・個別の事業毎に採択するため、課題箇所に確実に予算が充当

事業要件

・都道府県・政令市の管理する道路の場合

全体事業費 修繕 10億円以上 → 5億円以上※
更新 50億円以上 → 35億円以上※

・市区町村の管理する道路の場合

全体事業費 修繕 3億円以上 → 1億円以上※
更新 3億円以上

※平成31年度より事業要件を緩和

事業の実施例（市町村管理の橋梁修繕）

全景(手前側橋梁)



ゲルバーヒンジ部 損傷



橋脚 断面欠損と鉄筋露出

| | | | |
|------|-----------|-------|--------|
| 完成年度 | 1935（84歳） | 補助化年度 | H27 |
| 判定区分 | Ⅲ（早期措置段階） | 全体事業費 | 698百万円 |
| 橋長 | 353m | | |

溝橋の定期点検実務講習会の開催について(案)

- 「特定の条件を満足する溝橋の定期点検に関する参考資料」の周知促進を図るため、各都道府県道路メンテナンス会議主催による現地講習会を開催する。

○ 実施概要

時 期: 今後予定

対象者: 国・地公体職員、コンサルタント技術者

場 所: 地公体(都道府県)管理の橋梁から各都道府県内1箇所程度を選定

主 催: 各都道府県道路メンテナンス会議(都道府県単位で開催)

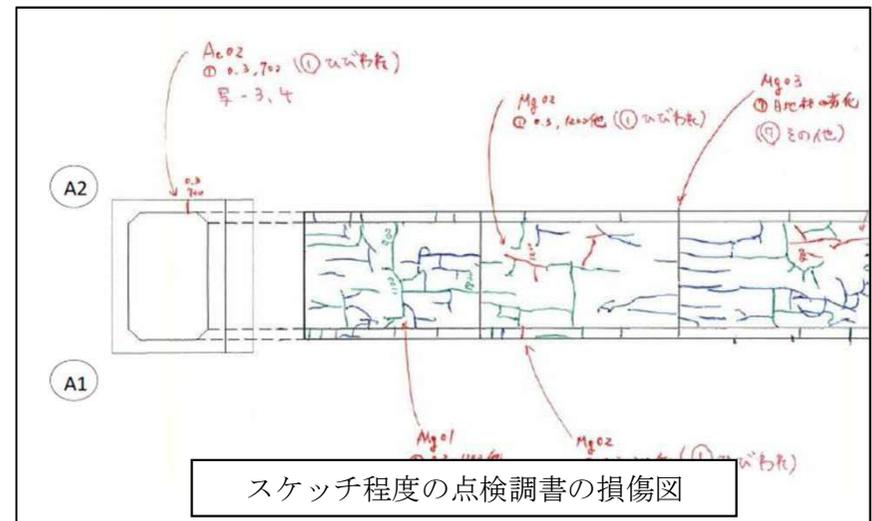
内 容: 特定の溝橋の参考資料の座学、現場での実演(全3時間程度)



近接目視の代用 (自撮り棒)

○ 主な説明ポイント

- ① 2名体制による現地点検作業の実施。
- ② 対象となる損傷や部位が限定的であることの説明(溝橋 6損傷)。
- ③ 近接目視の代用として援用機器の採用。(画像等の援用など、例えば自撮り棒の活用)
- ④ 点検調書はスケッチ程度の損傷図で記録。
- ⑤ 前回調書を活用した効率的な点検。



スケッチ程度の点検調書の損傷図

令和元年度研修・講習会案内

地方公共団体の技術力向上を図るため、技術講習会の開催等

道路橋梁の合同直営模擬点検【主催：(公財)東京都道路整備保全公社】

- 1 日時 令和元年 8月 2日(金)
- 2 場所 講義：青梅市役所 議会棟 3階 大会議室
実習：黒沢川 3橋梁 (青梅市黒沢一丁目地先)
- 3 参加人員 19名

道路メンテナンス研修【主催：特別区職員研修所(東京国道事務所)】

- 1 日時 令和元年11月22日(金) 予定
- 2 場所 講義：特別区職員研修所 千代田区神田相生町 1
実習：荒川河口橋 (山側)
- 3 参加募集人員 30名

道路メンテナンス講習会【主催：(公財)東京都道路整備保全公社】

- 1 日時 令和元年11月29日(金)
- 2 場所 講義：橋梁の維持管理
実習：点検実地トレーニング等
- 3 参加者 30名程度

橋梁点検講習会【主催：東京都道路メンテナンス会議(相武国道事務所)】

- 1 日時 令和元年12月4日(水) 予定
- 2 場所 講義：昭島市役所の会議室 (市民ホール)
実習：拝島橋北側カバート
- 3 参加募集人員 約80名

橋梁診断判定会議見学会【主催：東京都道路メンテナンス会議(東京国道事務所)】

- 1 日時 令和2年3月頃
- 2 場所 東京国道事務所 千代田区九段南 1-2-1
- 3 参加募集人員 検討中



点検支援技術活用講習会の開催

- 地方公共団体の点検支援技術に対する理解を深め、定期点検業務の中での技術の活用方法や留意点等に関する知見を習得し、自らの定期点検に反映してもらうことを目的に講習会を開催。
- 講習会は各県の道路メンテナンス会議を通じて開催。

《実施概要》

時 期: 今後予定

対象者: 地方公共団体・点検従事者(コンサル等)

場 所: 地方公共団体が管理する構造物

《講習会での説明内容》

- 地方公共団体が定期点検の中で点検支援技術を円滑に活用できるよう、技術活用の流れや留意点等について説明
 - ・ 点検支援技術を活用する流れ
(ガイドライン、性能カタログの活用方法等)
 - ・ 技術の活用目的の整理、技術の選定方法
 - ・ 事前準備(関係機関への届出等)
 - ・ 現地調査(実機での調査)
 - ・ 成果の活用、点検調書等への記録
 - ・ 意見交換



現地調査のイメージ